



平成 29 年 9 月 15 日

「わが村は美しくー北海道」運動の第8回コンクール受賞者決定 ～稚内開発建設部管内 1 団体が特別賞～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」という。）第8回コンクール大賞審査委員会を平成29年7月4日及び21日に開催し、優秀賞14団体の中から稚内開発建設部管内の「うたのぼり・癒しの森^{オムロ}「音夢路」利用促進研究会」が「特別賞」に決定されました。

わが村運動第8回コンクールには、全道70市町村から86団体の応募があり、昨年度、優秀賞14団体、奨励賞26団体を決定し表彰したところです。

このたび、優秀賞14団体の中から、先導性、モデル性の高い活動を行う2団体に大賞（北海道開発局長表彰）、また、今後とも継続した活動が期待される3団体に特別賞（大賞審査委員表彰）が贈られることになりました。

○大 賞 北海道幌加内高等学校
十勝パンを創る会

○特別賞 WEAVE（ウィーブ）
寿都地域マリビジョン協議会

うたのぼり・癒しの森^{オムロ}「音夢路」利用促進研究会

※ コンクールの経緯と表彰団体の詳細は別紙のとおりです。

※ 表彰式は平成29年10月31日（火）16：00から、北海道立道民活動センター（かでの2・7）にて行う予定です。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、ホームページに掲載しています。

http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

土地改良情報対策官

みやざき のりみつ
宮崎 範光

電話 0162-33-1186

土地改良情報対策官付 農業調査専門官

おの まなぶ
小野 学

電話 0162-33-1187



「わが村は美しくー北海道」運動 第8回コンクールの経緯と表彰団体について

北海道開発局
農業水産部 農業振興課



「わが村は美しくー北海道」運動 第8回コンクールの経緯



国土交通省

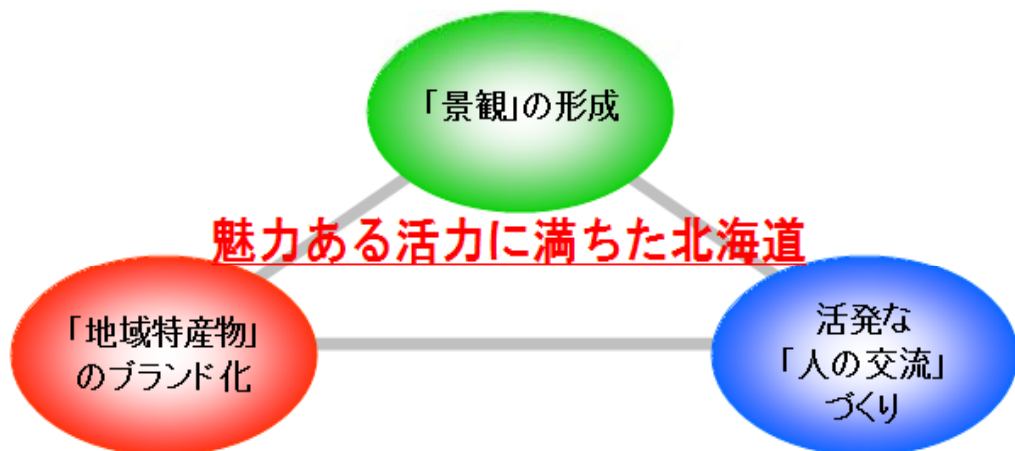
「世界の北海道」を目指して

ー北海道総合開発計画ー



- H28年度は、全道70市町村から86団体の応募があり、優秀賞14団体、奨励賞26団体を決定。
- コンクール2年目の本年度は、優秀賞14団体の中から先導性、モデル性に優れた2団体を「大賞」に決定。

◆運動のイメージ



- ・「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするため、地域の資源を活用して地域住民が主体的に行っている活動を支援する取組。
- ・住民、行政、団体、有識者、企業など多くの関係者の協力を得ながら平成13年にスタート。
- ・「景観」・「地域特産物」・「人の交流」の3つの要素から、北海道にあるたくさんの「地域資源」をみつけ、「いいもの」を多くの人に伝えていくため、コンクールを開催。
- ・コンクールは、道内各地で地域の魅力と活力を高めようとする地域住民の努力と行動に光をあて、全国に発信。活動を支援し波及させていくことによって、農山漁村の新たな発展を目指す。

「わが村は美しくー北海道」運動
第8回コンクール表彰団体はこちら

http://www.hkd.mlitt.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g70000010a3u.html



スケジュールについて

(平成28年度)

公募
(H28年3月14日～H28年6月30日)

- ・全道70市町村から86団体応募

ブロック審査委員会
(H28年7月～H28年12月)

- ・各開発建設部毎に設置
- ・応募団体の現地調査
- ・優秀賞・奨励賞の審査・選考

優秀賞・奨励賞の決定
(H29年1月)

- ・受賞団体の決定
 - ◎優秀賞14団体 表彰者～開発局長
 - ◎奨励賞26団体 表彰者～各建設部長

☆優秀賞～優秀な活動を選考

☆奨励賞～将来性や継続性から奨励する活動を選考

(平成29年度)

大賞審査委員会
(H29年7月～H29年9月)

- ・優秀賞受賞14団体の中から大賞候補団体を審査、選考
- ・審査委員は、外部有識者6名構成

- ・第1回大賞審査委員会 (H29年7月4日開催)
- ・第2回大賞審査委員会 (H29年7月21日開催)
※第2回審査委員会で終了

- ・受賞団体の決定・表彰
 - ◎大賞表彰者～開発局長

【表彰式】
H29年10月31日(火)16時から

大賞決定
(H29年9月)

☆大賞～運動を引率する先導性、モデル性の高い団体を選考

大賞 (北海道開発局長表彰)

北海道幌加内高等学校

【幌加内町】

高校生が「幌加内のそば」で地域活性化活動



幌加内町



地域特産物の「そば」を全国で唯一の必修科目とし、そば打ち初段位取得を卒業要件とするユニークな取組など、町特産の「そば」を活用した学びを通して、人づくりと地域づくりをうまく結びつけた活動は、地域活動モデルとして評価。

十勝パンを創る会

【帯広市】

十勝産小麦の付加価値向上を目指して



帯広市



「十勝パン」ブランドの確立を目指して十勝管内の14名のパン職人が正会員となり商品の開発に取組、東京オリンピックが開催される2020年には首都圏で十勝パンの販売を目指すなど、十勝のブランド力向上や観光振興にも期待。

特別賞 (大賞審査委員表彰)

WEAVE(ウィーブ)

【由仁町】

若い女性農業者の活躍

特別賞

若手女性農業者が楽しく
学んで仲間づくり



寿都地域マリンビジョン協議会

【寿都町】

漁村交流に取り組む

特別賞

目指せ!『寿都・後志
ツーリズム交流文化圏』
の形成



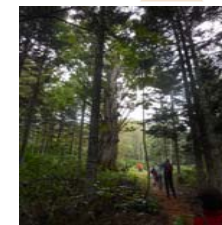
うたのぼり・癒しの森「音夢路」 利用促進研究会

【枝幸町】

過疎地域の森林利活用に取り組む

特別賞

森の癒し効果に着目した森林
セラピー



<参考> 「わが村は美しくー北海道」運動とは

- 住民主体の地域活性化活動を支援するとともに、貴重な地域資源情報として事業の推進に役立て、農山漁村の発展に寄与。
- 「景観」・「地域特産物」・「人の交流」の3つの要素から、北海道にあるたくさんの「地域資源」をみつけ、「いいもの」を多くの人に伝えていくため、コンクールを開催。
- コンクールは、道内各地で地域の魅力と活力を高めようとする地域住民の努力と行動に光をあて、全国に発信。



「わが村は美しくー北海道」運動について

日本と古くから交流があり、様々な先進的な取組を行っているヨーロッパの「ドイツ連邦共和国」では、「Unser Dorf soll schöner werden」、日本語訳「わが村は美しく」という、美しい農村景観をたたえるコンクールが実施されていました。

これを参考に平成13年に「わが村は美しくー北海道」運動が始まりました。

“運動”とは、地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な立場の人たちが「参加しよう」「広げよう」「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズに地域活動にかかわっていきこうというものです。

景観の維持・保全、農産物直売所、地域特産物の開発、農山漁家民泊、都市・農村交流等々、たくさんの団体が様々な活動に取り組んでいます。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指します。

北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、地域づくりに取り組む活動を対象としています。



【第8回コンクール大賞受賞団体】

北海道幌加内高等学校（幌加内町）



全国で唯一そば打ちを必修科目に取り入れ、販売会や商品開発などで、高校生が「幌加内のそば」で地域活性化活動

十勝パンを創る会（帯広市）



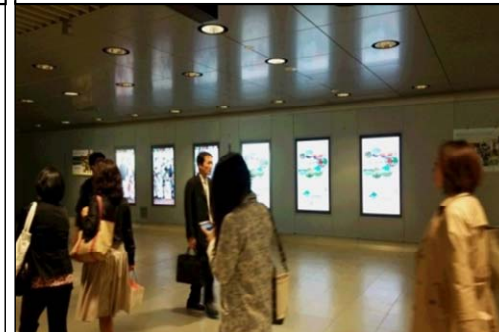
十勝産小麦の付加価値向上を目指して、十勝産素材を使用し統一した製法基準により十勝パンを創ることを目指す

「わが村」運動を広く伝える取組

JR北海道車内広報誌に 受賞団体記事を連載



札幌チカホでプロモーションビデオ 放映（札幌市連携）



観光ビジネスマッチングへの参加 （北洋銀行連携協定の活用）



首都圏でPR活動実施 （東武百貨店 池袋店）



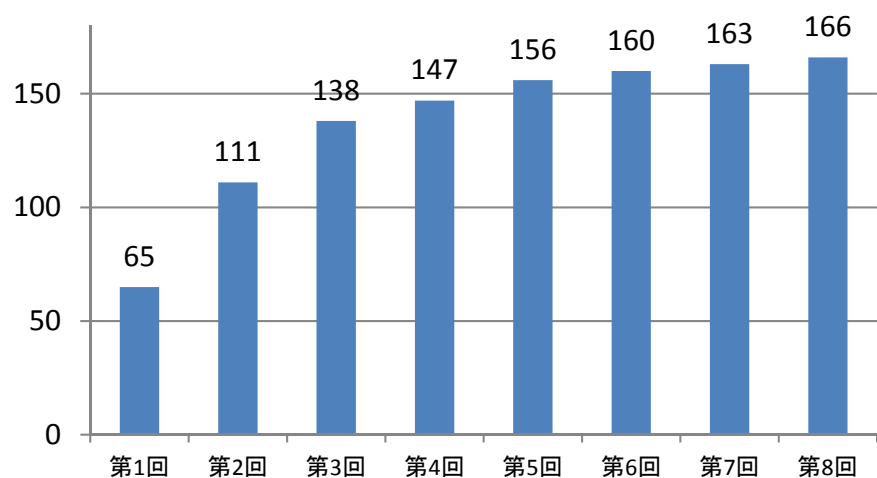
地域イベントでPR活動



- ✓ 北海道開発局ホームページから情報発信。
- ✓ メールマガジンの配信。
- ✓ facebookによる情報発信。
- ✓ 北洋銀行と地域活性化に資する連携協定の活用。
（活用実績：観光ビジネスマッチング出展、ビッセホールパネル展）
- ✓ 札幌市との連携強化による「チカホ」活用「イベント」参加。

<参考> 「わが村は美しくー北海道」運動 参加団体の状況

- 参加市町村は、全道の93%にあたる166市町村。（グラフ1、図1）
- これまでのコンクール参加団体数は、複数応募を除き779団体、延べ応募数では、1,111団体。
また、受賞団体数は、延べ215団体。
（3部門制開催の第5回までは金銀銅75、部門統合した第6回以降145）（表1）



グラフ1 参加市町村数（累積）

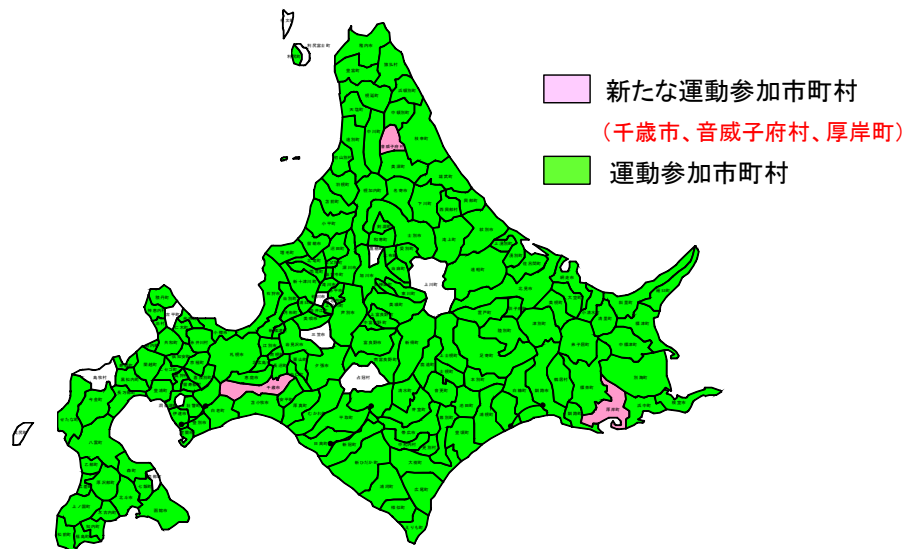


図1 運動参加市町村図

○コンクール応募対象

北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、地域づくりに取り組む次のような活動を対象とする。

目的や内容に「生産と生活に根ざした景観の形成」「地域で生産される農林水産物を活かした特産物づくり」「地域内交流の活発化や都市住民等地域外との交流」の要素のいずれかを含み、これらを活かして地域の活性化に貢献している活動。

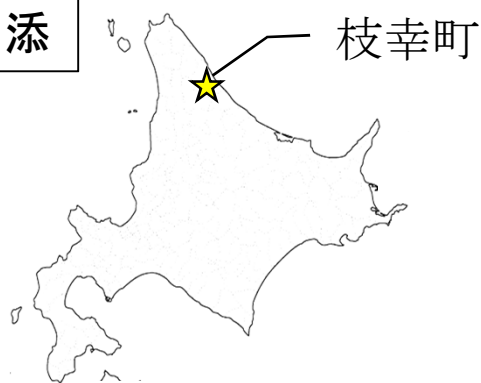
○応募資格

住民が主体となって参加している団体の活動であること（任意団体、NPO法人、協同組合、商工会議所、商工会、学校等を含み、企業単独、個人単独の活動を除く。但し、企業、個人単独であってもその活動が地域の他の団体と連携した活動であって、地域との繋がりが明確に認められる場合は対象とする）

表1 これまでの参加団体数及び受賞団体数

		第1回 H13-14	第2回 H15-16	第3回 H17-18	第4回 H19-20	第5回 H21-22	第6回 H24-25	第7回 H26-27	第8回 H28-29	計
参加団体数 （重複応募を除いた団体数）		114 (114)	160 (119)	170 (122)	169 (100)	200 (130)	113 (73)	99 (64)	86 (57)	1,111 (779)
景観	金	-	-	-	-	-	大賞 3	大賞 3	大賞 2	
	銀	4	-	1	-	1				
	銅	-	2	1	1	1				
特産物	金	2	2	2	2	2	優秀賞 14	特別賞 2	特別賞 3	
	銀	2	2	2	1	2				
	銅	2	3	2	3	3				
交流	金	2	1	1	1	2	奨励賞 34	奨励賞 30	奨励賞 26	
	銀	2	3	3	2	2				
	銅	3	3	2	3	2				

別 添



「わが村は美しくー北海道」運動
第8回コンクール「特別賞」
うたのぼり・癒やしの森「音夢路」
利用促進研究会
【枝幸町】

森の癒やし効果に着目した地元
での森林セラピー

はじめは？

将来、少子高齢化、過疎化等、地域の衰退が危惧されることから、この地に住むみんなが元気で明るく、そして町外から多くの方々に訪れてもらうために、森林ウォーキングへの参加を促し、健康増進と地域コミュニティの醸成、都市農村交流など、森林の魅力（森林セラピー：健康、自然との融合）の情報発信や地域の活性化に繋がる活動として平成20年に研究会を立ち上げました。

おもな活動

会員自ら環境整備を行い、森の癒し効果に着目した森林セラピーを目的に「ウォーキングの集い」を設立当初から開催し、憩いの場・癒しの場として活用することで、地域住民の健康づくりに結び付けるとともに、自然観察など環境学習活動も行っています。

また、本団体発足以来、間伐材を活用したオブジェ、キノコ栽培や利用者に配慮した環境整備など、手作りの工夫により活動が進化し、年々、札幌など



キノコのホダ木制作

他地域の参加者や子供の参加も増え、世代を超えた交流の輪が広がり、地域コミュニティづくりや都市住民との交流人口増加など地域の活性化につながっています。



ウォーキングの集い（中央がミズナラの巨木）

ここが自慢

【ウォーキングによる交流と健康増進】

ウォーキングの集いは、年5回程度、9kmのコースを3時間半かけて歩くもので、森の持つ癒し効果で心身ともにリフレッシュが図られ、活動開始以来延べ千人以上が参加されました。

コースには、森の象徴である樹齢360年のミズナラの巨木など多様な樹種のほか、この地域での最高峰の函岳（美深町・標高1,129m）や歌登市街を一望できる展望ポイントが設けられ、四季折々の景色を楽しむことができます。



ウォーキング参加者で記念撮影

また、休憩用イスやトイレの設置など利用しやすい環境を会員自ら造り上げており、イベントに関わらず常時一般開放されています。

連絡先

代表者名：駒形 定雄さん／設立：2008年／会員：181名

住所：枝幸郡枝幸町歌登東町106

電話番号：0163-68-2026

FAX：0163-68-2871

E-mail：yasushi.yokoyama@tanaka-gr.co.jp

URL：－